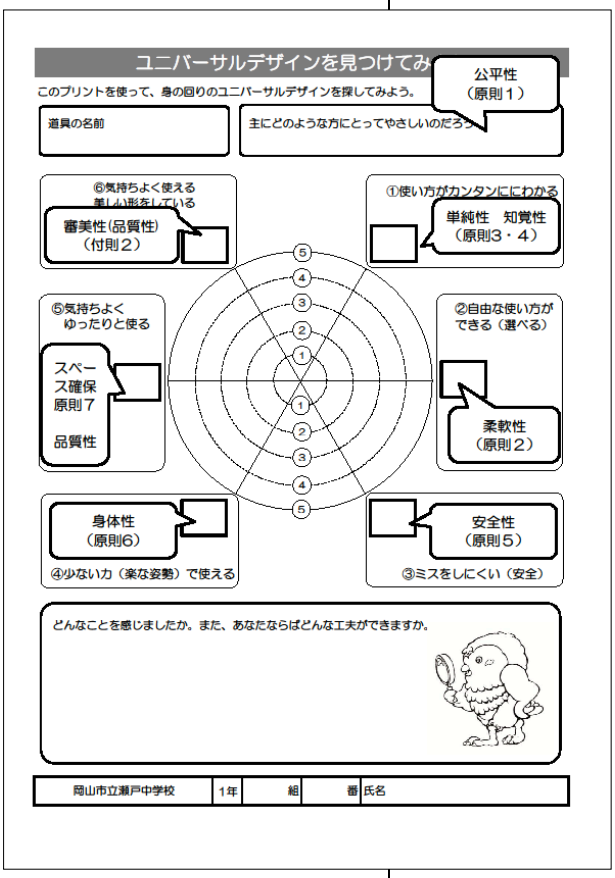
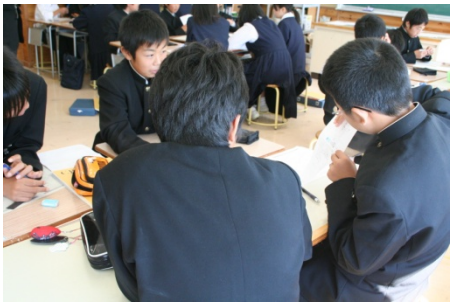
中学校　ユニバーサルデザイン（プロダクトデザイン）　学習指導案	
単元(題材)名	ユニバーサルデザインを考える（Ｍｙボールペンのデザイン）
授業実施日	平成２３年１０月２７日（木）２時間目
学　習　者	岡山市立瀬戸中学校　第１学年Ｄ組
授業指導者	岡山市立瀬戸中学校　　教諭　岡本　昌史　先生
授業の概要	本題材はＵＤのプロダクトデザイン領域を、ボールペンのデザイン制作を通じて指導するものである。「私だけのボールペン」と「誰でも使いやすいボールペン」の二種類を制作し、よりＵＤの概念が明確化するように題材を設定した。材料は、ボールペンの軸に、石粉粘土を付けることで成形する。 １年生の題材であるので、ＵＤの７原則を学習し、その理念を作品の中に見出すための評価表を相互鑑賞やアイデアを考える際に用いた。
目　　標	○ユニバーサルデザイン（ＵＤ）の視点から自分や他の人の作品を評価することができる。【鑑賞の能力】 ○ＵＤの視点から作品の構想を練り直し、より良いスケッチを描くことができる。【発想・構想の能力】

学　習　活　動	教師の支援・指導上の留意点	評価の観点
１　人物クロッキーを描く。 	○落ち着いた雰囲気で描かせる。 	
２　ＵＤの５つの視点を確認する。	○ＵＤの容器を見せて、前時の授業を想起させ、ＵＤの５つの視点を確認させる。	

ＵＤ５つの視点
①使い方がカンタンにわかる
②自由な使い方ができる（選べる）
③ミスをしにくい（安全）
④少ない力（楽な姿勢）で使える
⑤ゆったりと使える

⇨ **できるだけすべての人が利用可能な**
やさしい形へ

3　本時の目標を知る。 	○ＵＤの視点から自分のスケッチを評価し、より良いスケッチにすることを知らせる。  	鑑賞の能力 ＵＤの視点から評価できたか。 【評価シート】
4　容器を題材に評価の演習をする。 5　自分のボールペンのアイデアスケッチを評価する。	○評価シートを使って評価させる。 ・項目ごとに説明しながら、点数やその理由を記入させる。 ・自分のつけた評価を何人かに発表させて、感じ方に共通点や相違点があることに気づかせる。 ○自分のこだわった内容をＵＤの視点から一番工夫した点を評価シートのコメント欄に記入させる。	関心・意欲・態度 積極的に意見を出したり、話しあったりできたか。【発表】 発想・構想の能力 自分の発想をより良いスケッチに見直すことができたか。 【アイデアスケッチ】

6　友達の工夫した点をグループで話し合う。 	○スケッチと評価シートを見せながら一番工夫した点を一人ずつ発表させる。 ○自分なりのスケッチがより良いものになるように考えながら、聞くようにさせる。 ○他の人のスケッチに対しては、アドバイスになるような意見を言うように促す。	
7　自分のスケッチをより良いスケッチになるよう描き直す。 	○描き直した部分に説明を書かせる。 	
8　改善点を発表させる。	○１～２人に会発表させる。	
9　本時のまとめをし、次時の予告を聞く。	○本時に理解したことを学習シートに振り返らせる。 ○次時を完成したスケッチを基に粘土で造形する。	

授業のイメージ	１年生であるので、ＵＤに対して新鮮な感覚で接し、発表でも非常に素直な意見が出ていた。さまざまな意見を聞き、自分の感じ方と他者との感じ方の「相違点」と「共通点」を再認識するという意味で、他者理解を班活動を通じて行うことが有効であると感じた。 評価表を用いて授業を行うことについて、漠然とした概念を具体的な表現として考える方法として効果的であったと考える。 また、授業前後の休憩時間にＵＤグッズに高い興味を示す生徒の姿も印象的だった。